



RCON-SC, RCON-PS2

200V 電源ユニット、200V ドライバユニット、ファンユニット、200V 用ターミナルユニット

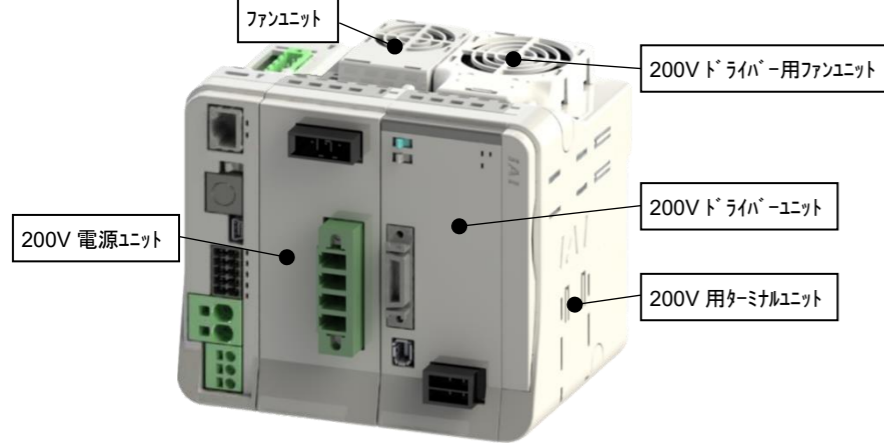
ファーストステップガイド 第3版

このたびは、当社の製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
安全のために、本ファーストステップガイドのほか、安全ガイドおよび取扱説明書に従って、正しく使用してください。
このファーストステップガイドは、本製品専用にかかれたオリジナルの説明書です。

警告： 本製品の取扱いは、取扱説明書を熟読の上、取扱説明書に従って行ってください。
取扱説明書は、当社のホームページからダウンロードしてください。
無償でダウンロードできます。初めての方はユーザー登録が必要となります。
URL www.iai-robot.co.jp/data_dl/CAD_MANUAL/
取扱説明書は、本製品を設置した機器の近くに印刷して、いつでも確認できるようにするか、パソコンやタブレット端末などに表示して、すぐに確認できるようにしてください。
取扱説明書の製本が必要な場合、ファーストステップガイドまたは取扱説明書巻末に記載されている最寄の営業所に注文してください。有償で提供いたします。

- この取扱説明書の全部または一部を無断で使用・複製することはできません。
- 本文中における会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

R-unit は、マスターユニット (RCON/RSEL)、24V および 200V ドライバユニット、拡張ユニット、簡易アダプユニット、ファンユニット、ターミナルユニットを組合せてシステムを構成しています。
本書では、200V 電源ユニット、200V ドライバユニット、ファンユニット、200V 用ターミナルユニットについて記載します。
その他のユニットの取扱いは、それぞれのファーストステップガイドおよび取扱説明書を確認してください。



製品の確認

本製品は、標準構成の場合、以下の部品で構成されています。
方が一、型式違いや不足のものがありませんでしたら、お手数ですが、販売店または当社までご連絡してください。

1. 構成品

番号	品名	型式	数	備考
1	200V 電源ユニット	型式銘板の見方、型式の見方を参照	1	
付属品				
2	200V 用ターミナルユニット	RCON-GW-TRS	1	TRN 仕様の場合は付属しない
3	ファンユニット	RCON-FU	1	
4	電源コネクタ	SPC5/4-STF-7.62 (フェニックス・コンタクト)	1	
5	ファーストステップガイド	MJ0397	1	本書
6	安全ガイド	M0194	1	

番号	品名	型式	数	備考
1	200V ドライバユニット	型式銘板の見方、型式の見方を参照	1	
付属品				
2	200V ドライバ用ファンユニット	RCON-FUH	1	
3	ダミープラグ	DP-6	1	
4	ファーストステップガイド	MJ0397	1	本書
5	安全ガイド	M0194	1	

2. ティーチングツール (別売)

パソコン専用ティーチングソフトなどのティーチングツールは、教示などによるボジション設定、パラメータ設定などセットアップの操作に必要です。いずれかのパソコン対応ソフトなどのティーチングツールを用意してください。

番号	品名	型式
1	パソコン専用ティーチングソフト	SEL コントローラ : IA-101X/N ボジションコントローラ : IA-OS RCM-101-MW/USB
2	タッチパネルティーチングボックス TB-02 (標準/デッドマンスイッチ付き)	TB-02/TB-02D
3	タッチパネルティーチングボックス TB-03	TB-03

3. 本製品関連の取扱説明書

番号	名称	管理番号
1	RCON システム 取扱説明書	MJ0384
2	RSEL システム 取扱説明書	MJ0392
3	パソコン専用ティーチングソフト RCM-101-MW/ RCM-101-USB 取扱説明書	MJ0155
4	パソコン専用ティーチングソフト IA-101-MW/USB 取扱説明書	MJ0154
5	タッチパネルティーチングボックス TB-02 ボジションコントローラ対応 取扱説明書	MJ0355
6	タッチパネルティーチングボックス TB-02 プログラムコントローラ対応 取扱説明書	MJ0356
7	タッチパネルティーチングボックス TB-03 有線接続 ボジションコントローラ対応 取扱説明書	MJ0376
8	タッチパネルティーチングボックス TB-03 有線接続 プログラムコントローラ対応 取扱説明書	MJ0377

4. 型式銘板の見方 (本デザインは、UL/CE 取得後のものです。)

(1) 200V 電源ユニット

型式銘板 (大)

貼付け位置は、[外形寸法図]を参照してください。

型式
シリアル番号



型式銘板 (小)
パネル前面
下部に貼付け

型式
シリアル番号

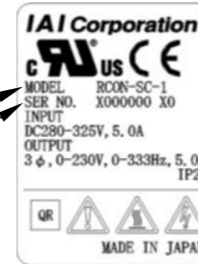


(2) 200V ドライバユニット

型式銘板 (大)

貼付け位置は、[外形寸法図]を参照してください。

型式
シリアル番号



型式銘板 (小)
パネル前面
下部に貼付け

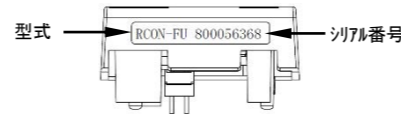
型式 (一部)



(3) ファンユニット

型式

シリアル番号



(2) 200V ドライバユニット

RCON - SC - 1

<シリアル> <軸数> 1 : 1 軸

<タイプ> SC : 200V AC サーマモーター

タイプ : SC	60	60W サーマモーター
	100	100W サーマモーター
	100	100W サーマモーター (LSA 用)
	150	150W サーマモーター
	200	200W サーマモーター
	200	200W サーマモーター (LSA、DD 用)
	300	300W サーマモーター (LSA 用)
	400	400W サーマモーター
	600	600W サーマモーター
	750	750W サーマモーター

(3) ファンユニット

RCON - FUH

<シリアル> <タイプ>

FU : ファンユニット
FUH : 200V 用ファンユニット

基本仕様

1. 電源仕様

項目	仕様
電源入力電圧範囲	AC200~230V ±10%
電源周波数範囲	50/60Hz
電源容量	[電源容量]の項を参照
突入電流	25A/軸 (突入電流制限回路あり)
瞬時停電耐量	20ms (電源周波数 50Hz 時) 16.3ms (電源周波数 60Hz 時)
感電保護機構	クラス I
漏れ電流	3.0mA 以下

2. 制御部仕様

項目	仕様
制御軸数	RCON システム 1~16 軸、RSEL システム 1~8 軸
対応モーター容量	60W~750W
対応エンコーダ	インクリメンタル型、パルスレス型、ABZ (UVW) パルス、疑似パルス、インテリジェントパルス
フィールドネットワークタイプ	CC-Link、CC-Link IE Field、DeviceNet、EtherCAT、EtherNet/IP、PROFIBUS-DP、PROFINET IO、MECHATROLINK-III、EtherCAT モーション、SSNET III/H (モーションネットワークへの対応は、ドライバユニットバージョン V0005 以降)
パルス列仕様	制御不可
ブレーキ出力電圧	DC45V ±10% (過励磁 90V)
接続可能ブレーキ電力	Max 7W
加熱機能	保持時間 : 約 10 日、充電時間 : 約 100 時間
安全ガードリ対応	B (安全ガードリ対応仕様は、外部回路に 4 まで対応可能)
駆動源遮断方式	半導体 (パワー MOSFET) による駆動源遮断
停止入力	B 接点入力
停止動作	サーボ OFF + 駆動源遮断
イネーブル入力	なし
T.P.イネーブル入力	あり
イネーブル動作	サーボ OFF
保護機能	過電流、温度異常、エンコーダ断線、過負荷
予防・予兆保全機能	電解コンデンサ容量低下、ファン回転数低下
ドライバユニット LED 表示	[トラブルシューティング LED 表示]の項を参照
ブレーキ強制解除機構	200V ドライバユニットにブレーキリリーススイッチを搭載
ジョグ	200V ドライバユニットにジョグスイッチを搭載
ケーブル長	モーターケーブル : 20m 以下、エンコーダケーブル : 20m 以下
海外認証	CE、UL

3. 環境仕様

項目	仕様
使用環境	汚染度 2
使用周囲温度	0~55°C
使用周囲湿度	85%RH 以下 (結露の無いこと)
使用周囲雰囲気	[設置環境]の項を参照
保存周囲温度	-20~70°C
耐振動	振動数 10~57Hz / 振幅 : 0.075mm 振動数 57~150Hz / 加速度 9.8m/s ² XYZ 各方向 掃引時間 : 10 分 掃引回数 : 10 回
保護等級	IP20
標高	1000m
冷却方式	ファンユニットによる強制空冷
絶縁耐圧	電源端子と PE 間 1500V 1 分間
過電圧ガードリ	I

5. 型式の見方

(1) 200V 電源ユニット

RCON - PS2 - 3 - TRN

<シリアル> <タイプ> PS2 : 200V 電源ユニット <電源電圧> 3 : 三相/単相 200V <オプション> TRN : ターミナルユニットなし

電源容量

電源容量は制御電源容量とモーター電源容量に分けられます。

本書では、制御電源および200Vモーター電源の電源容量について記載します。24Vモーター電源の電源容量に関しては、RCON 24Vドライバーユニットのファーストステップガイド (MJ0383) および取扱説明書で確認してください。制御電源はマスターユニットの制御電源コネクタから入力します。モーター電源は200V電源ユニットの200V入力コネクタから入力します。

電源容量に関する仕様は以下のとおりです。

【制御電源】

項目	仕様		
電源電圧	DC24V±10%		
制御電源容量 (ユニット1台当たり)	マスターユニット (ターミナルユニット含む)	RCONゲートウェイユニット	0.8A (Ethernetオプション: なし) 1.0A (Ethernetオプション: あり)
		SELユニット	1.2A
	24Vドライバーユニット	ブレーキ: なし	0.2A
		ブレーキ: あり (1軸仕様)	0.4A
		ブレーキ: あり (2軸仕様)	0.6A
	200Vドライバーユニット (200V電源ユニット含む)	ブレーキ: なし	0.2A
		ブレーキ: あり	0.5A
	オプションユニット	SCON拡張ユニット	0.1A
		PIO/SIO/SCON拡張ユニット	0.1A
		PIOユニット	0.1A
簡易77Vユニット (全タイプ共通)	0.2A		
EC接続ユニット	0.1A		

【200Vモーター電源】

77Vモーター-W数	モーター電源容量	瞬時最大モーター電源容量 [VA]
30R (RS-30)	138	414
60	138	414
60 (RCS3-CTZ5)	197	591
100	234	702
100S (LSA)	283	851
150	328	984
200	421	1263
200S (DD (A))	503	1509
200S (LSA (S)-N15H 以外)	486	1458
200S (LSA (S)-N15H)	773	2319
300S (LSA)	662	1986
400	920	2760
400 (RCS3-CT8)	1230	3690
600	1164	2328
600 (DD (A))	1462	4386
750	1521	3042
750S	1521	4563

ユニット接続制限事項

(1) 電流制限値について

選定計算用の電流制限値は以下のとおりになります。

項目	選定計算用の電流制限値
制御電源 (CP)	9.0A 以下

制御電源の必要な電源容量は、“使用しているユニットの制御電源容量の和”で算出されます。先の電源容量【制御電源】の表から、構成するシステム全体の電源容量を加算し、ユニット接続制限事項に記載されている選定計算用の電源制限値を越えていないことを確認してください。なお、マスターユニットは計算対象に含みません。

以下に計算例を示します。

【制御電源】 ※マスターユニットは計算対象に含みません。

例 1	200V 77Vモーター × 8 軸、全軸ブレーキ付き 200V ドライバーユニット (ブレーキあり) 0.5A × 8 = 4.0A ⇒ OK
例 2	200V 77Vモーター × 16 軸、全軸ブレーキ付き 200V ドライバーユニット (ブレーキあり) 0.5A × 16 = 8.0A ⇒ OK
例 3	24V 77Vモーター × 8 軸、全軸ブレーキ付き (2軸/ユニット)、全軸簡易77V 200V 77Vモーター × 8 軸、全軸ブレーキ付き 24V ドライバーユニット (ブレーキあり) 0.6A × 4 + 簡易77V 0.2A × 8 + 200V ドライバーユニット (ブレーキあり) 0.5A × 8 = 8.0A ⇒ OK
例 4	200V 77Vモーター × 16 軸、全軸ブレーキ付き + PIO/SIO/SCON 拡張ユニット 1 台、PIO ユニット 7 台 200V ドライバーユニット (ブレーキあり) 0.5A × 16 + PIO/SIO/SCON 拡張ユニット 0.1A × 1 + PIO ユニット 0.1A × 7 = 8.0A ⇒ OK

(2) 200Vモーター電源の電流制限値について

選定計算用の制限値は以下の通りです。

項目	選定計算用の制限値
200Vモーター電源 (単相)	1600W
200Vモーター電源 (三相)	2400W

モーター電源の必要な電源容量は、“使用している77Vモーターのモーター電源容量の和”で算出されます。先の電源容量【モーター電源】の表から、構成するシステム全体の77Vモーター-W数を加算し、ユニット接続制限事項に記載されている選定計算用の制限値を越えていないことを確認してください。

但し、以下の77Vモーターは、計算用モーター-W数で計算してください。

77Vモーター型式	計算用モーター-W数		備考
	三相電源供給	単相電源供給	
LSA-S6S□/S8S□/S8H□/ LSA (S)-N10S□	100	300	1スライダ当たり
LSA-S10S□/H8S□/H8H□/L15S□/N19SS LSA (S)-N15S□/N15H□/ LSA-W21S□	200	600	1スライダ当たり
DD (A)-LT18 (C) / T18 (C)	200	— (注1)	1スライダ当たり
DD (A)-LH18 (C) / H18 (C)	600	— (注1)	
RCS3-CTZ5C	200	— (注1)	
RCS3-CT8C	800	— (注1)	

注 1 RCON-PS2-3 への電源供給が単相 200V の場合は使用できません。

200V電源ユニットへの入力電源による軸数制限について

下記の77Vモーターは、RCON-SC-1 と接続する場合に 200V 電源ユニットへ供給する電源により接続可能な軸数に制限があります。

項目	200Vモーター電源	
	三相	単相
DD (A)-LT18 (C) / T18 (C)	最大 8 軸	接続不可
DD (A)-LH18 (C) / H18 (C)	最大 2 軸	接続不可
RCS3-CTZ5C	最大 8 軸	接続不可
RCS3-CT8C	最大 3 軸	接続不可

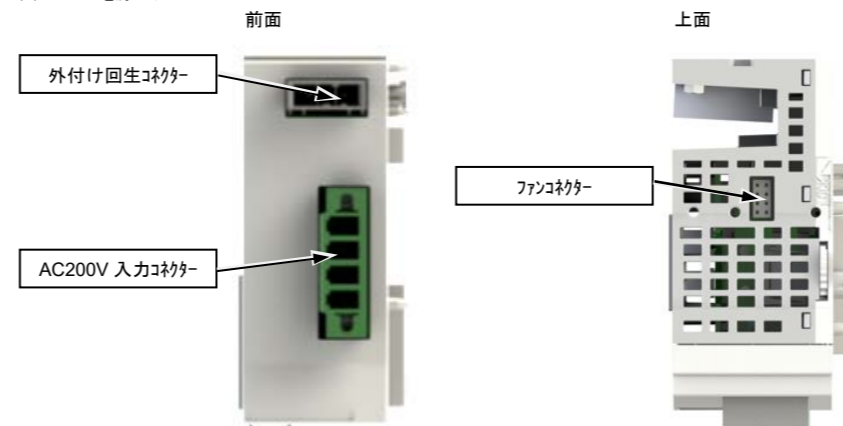
以下に計算例を示します。

【200Vモーター電源】

例 5	200Wモーターの77Vモーター、300Wモーターの77Vモーター、600Wモーターの77Vモーター 各 1 軸 200W × 1 軸 + 300W × 1 軸 + 600W × 1 軸 = 1100W ⇒ 単相 OK、三相 OK
例 6	RCS3-CTZ5C × 1 軸、200Wモーターの77Vモーター × 7 軸 120W + 200W × 7 軸 = 1520W ⇒ 単相 NG (RCS3-CTZ5C は単相電源不可)、三相 OK
例 7	200Wモーターの77Vモーター × 6 軸、LSA-S10SM (77Vスライダ) × 1 軸 200W × 6 軸 + 400W × 2 = 2000W ⇒ 単相 NG、三相 OK
例 8	200Wモーターの77Vモーター × 16 軸 200W × 16 軸 = 3200W ⇒ 単相 NG、三相 NG

各部の名称

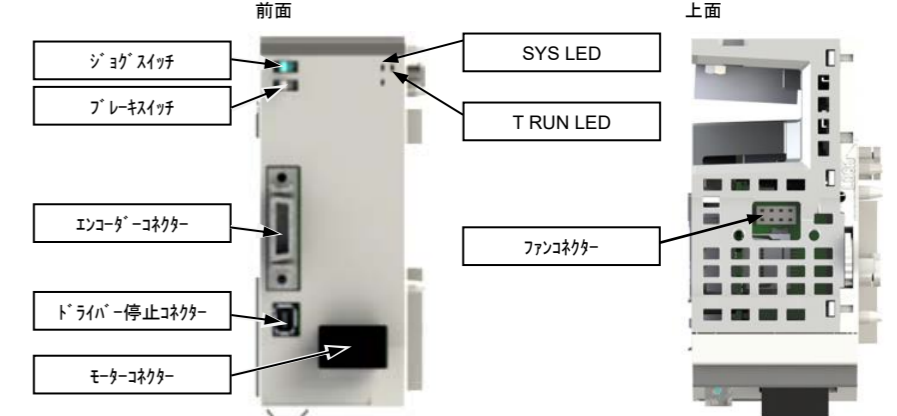
(1) 200V電源ユニット



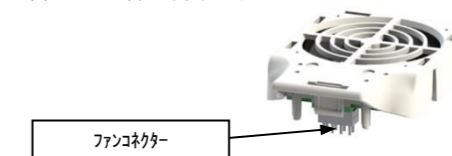
(2) ファンユニット



(3) 200Vドライバーユニット



(4) 200Vドライバー用ファンユニット



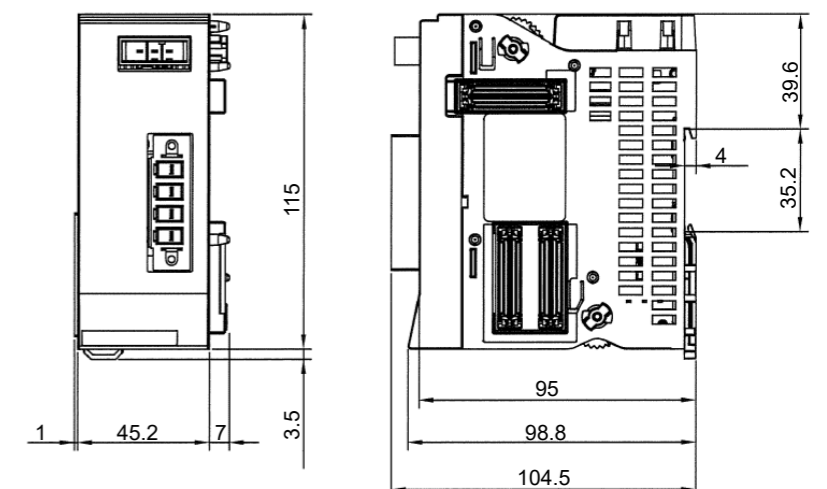
(5) 200V用ターミナルユニット



外形寸法図

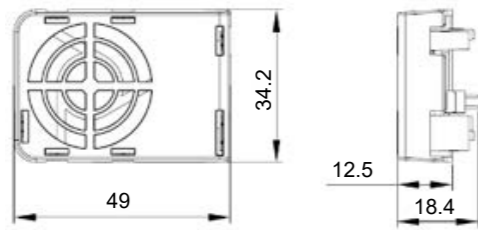
1. 200V電源ユニット

項目	仕様
外形寸法	45.2W × 115H × 95D [mm]
質量	約 393g (ファンユニットの質量除く)



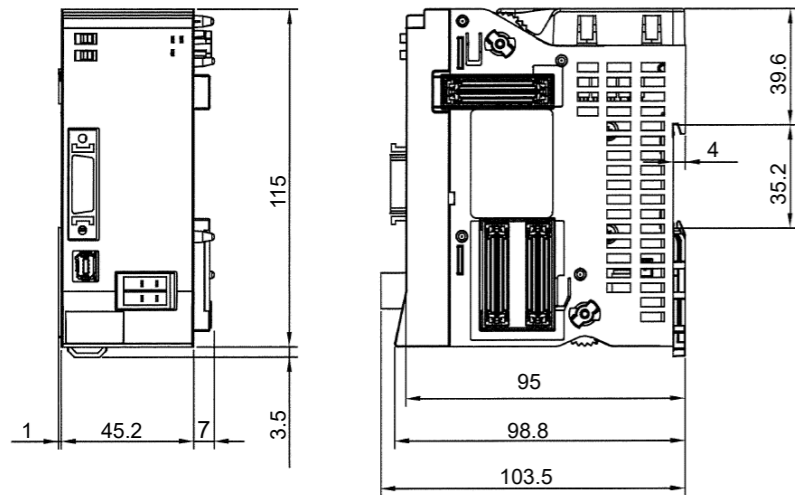
2. ファンユニット

項目	仕様
外形寸法	34.2W × 49H × 12.5D [mm]
質量	約 16g



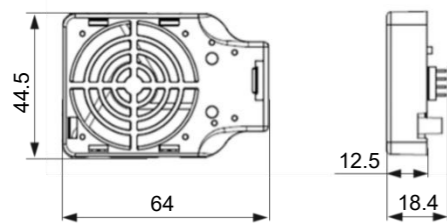
3. 200Vドライバーユニット

項目	仕様
外形寸法	45.2W × 115H × 95D [mm]
質量	約 438g (ファンユニットの質量除く)



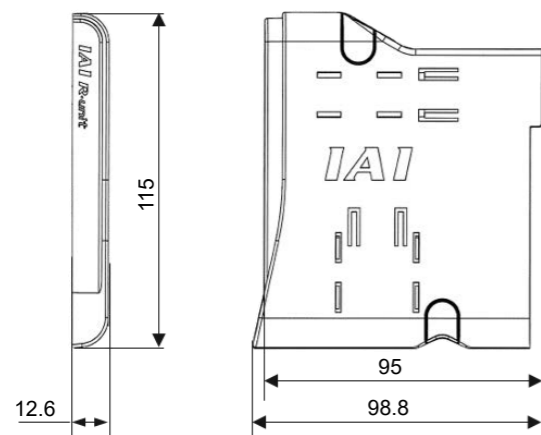
4. 200Vドライバーユニット用ファンユニット

項目	仕様
外形寸法	44.5W × 64H × 12.5D [mm]
質量	約 20g



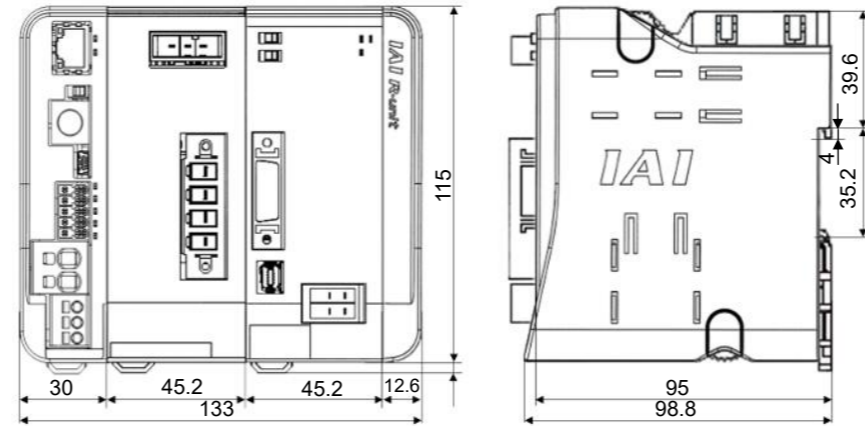
5. 200V用ターミナルユニット

項目	仕様
外形寸法	12.6W × 115H × 95D [mm]
質量	約 40g



6. ユニット連結時

項目	仕様
外形寸法	(30 + 45.2 + 45.2 + 12.6)W × 115H × 95D [mm]
質量	約 1,077g



設置環境

使用環境は、汚染度2※1 または同等の環境で使用することができます。
 ※1 汚染度2：通常、非導電性の汚損だけが生じるが、結露による一時的な導電性汚損の可能性がある。(IEC60664-1)

1. 設置環境

- 次のような場所は避けて設置してください。
- 周囲温度が0～55℃の範囲を超える場所
 - 温度変化が急激で結露するような場所
 - 相対湿度が85%RHを超える場所
 - 腐臭性ガス、可燃性ガスのある場所
 - 塵埃、塩分、鉄粉が多い場所
 - 本体に直接振動や衝撃が伝わる場所
 - 日光が直接あたる場所
 - 水、油、薬品の飛沫がかかる場所
 - 通気孔を塞ぐような場所 [設置およびノイズ対策]の項参照
 - 標高が1,000mを超える場所

次のような場所で使用する際は、遮断対策を十分に行ってください。

- 静電気などによるノイズが発生する場所
- 強い電界や磁界が生じる場所
- 電源線や動力線が近くを通る場所

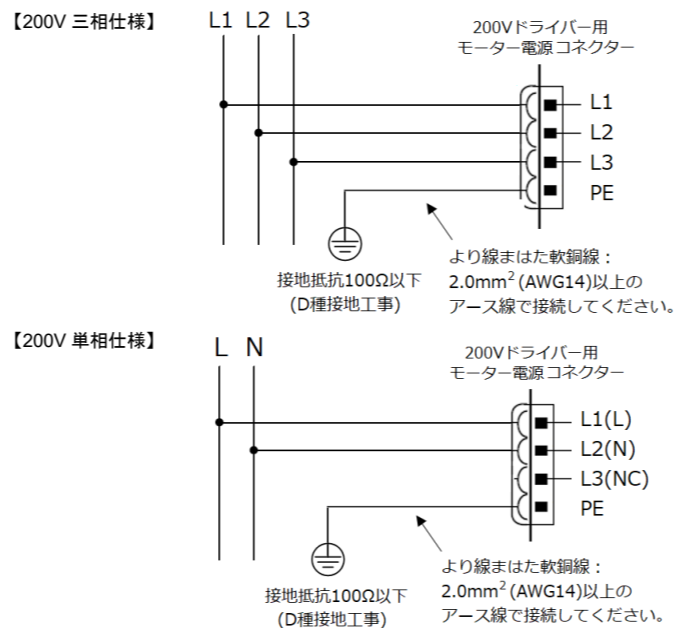
2. 保管・保存環境

保管・保存環境は設置環境に準じます。ただし、周囲温度は-20～70℃、相対湿度は85%RH以下とします。特に長期保存の場合は、結露の発生がないように十分な配慮をしてください。指定のないかぎり、出荷時に水分吸収剤は同梱してありません。結露が予想される環境での保管・保存の場合、梱包の外側から全体を、あるいは開梱して直接、結露防止処置を施してください。

設置およびノイズ対策

1. 保安用接地

接地は、接地抵抗100Ω以下(D種接地工事)としてください。
 配線は、2.0mm²(AWG14)以上で絶縁被覆の温度定格が60℃以上のより線または軟銅線を使用してください。



2. ノイズ対策用接地(フレームグラウンド)

ノイズ対策用接地(フレームグラウンド)は、マスターユニット側で行っています。

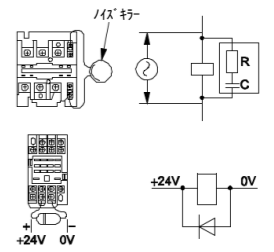
3. 配線方法に関する諸注意

互いの影響を減らすため、I/O線、通信ライン・エンコーダ線、電源・動力線はそれぞれ分離してください。

4. ノイズ発生源およびノイズ防止

同一電源路および同一装置内の電源機器には、ノイズ防止対策を行ってください。
 以下にノイズ発生源の対策例を示します。

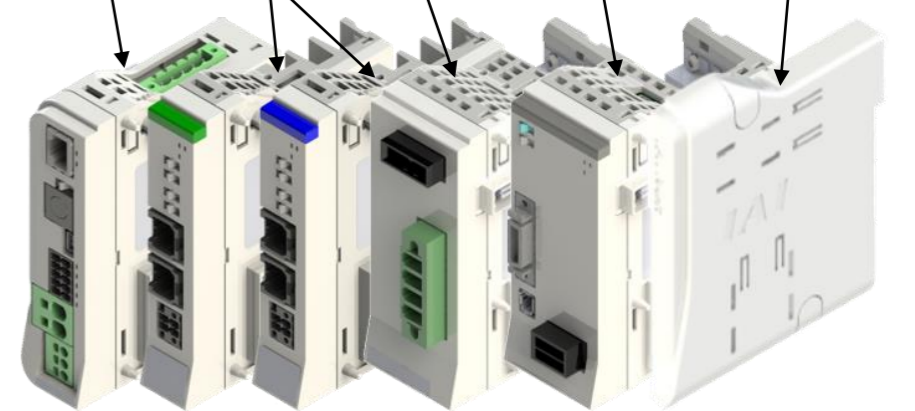
- ACリノイドバルブ・マグネットスイッチ・リレー
 【処置】コイルと並列にノイズキラーを取付けてください。
- DCリノイドバルブ・マグネットスイッチ・リレー
 【処置】コイルと並列にダイオードを取付けるか、ダイオード内蔵型を使用してください。



ユニットの連結

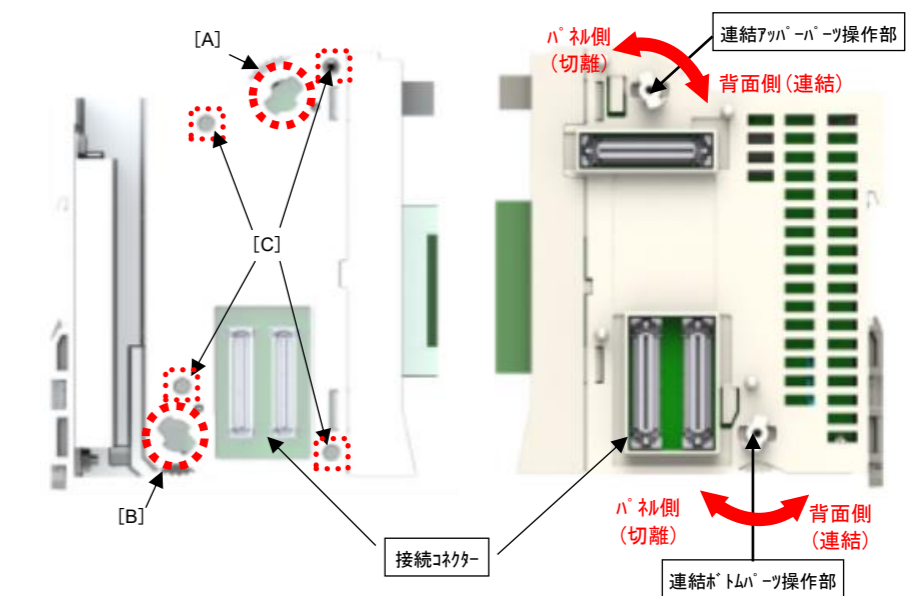
RCON/RSELシステムはロック構造のユニット連結型方式です。ハ側面から見て200V電源ユニットは、24Vドライバーユニットの右側に連結します。200Vドライバーユニットはその右側に必要台数連結し、右端に200V用のターミナルユニットを連結します。ターミナルユニットは、必ず200V電源ユニットに付属の200V用のターミナルユニットを使用してください。

マスターユニット(左端) - ドライバーユニット - 200V用電源ユニット - 200V用ドライバーユニット - 200V用ターミナルユニット



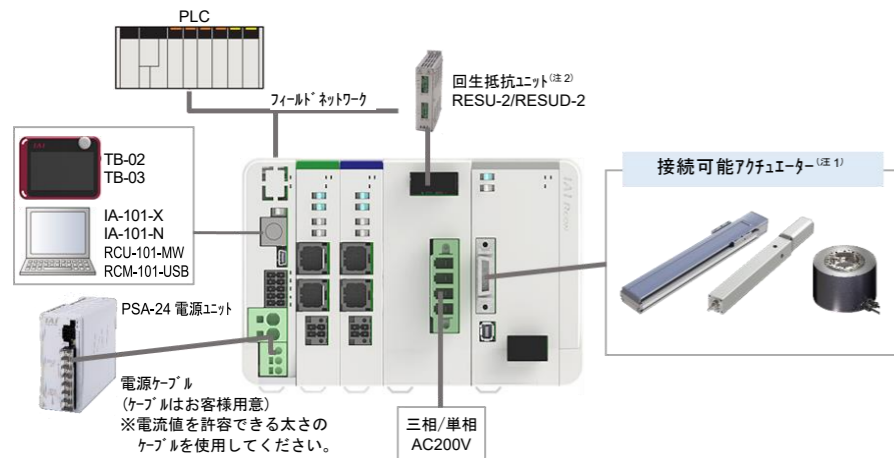
ユニットの連結は、以下の手順で行います。(連結はDINレール接続前に行ってください。)

- 連結7ピンパーツ・連結6ピンパーツの操作部をハ側面に回し、ハ側面側に位置させます。
- [A]部に連結7ピンパーツ、[B]部に連結6ピンパーツ、[C]部4ヶ所に位置決めボス、計6箇所が嵌合するように、2つのユニットを位置合わせします。
- 位置合わせができた後、接続コネクタ2ヶ所がしっかり接続されるよう挿し込みます。
- 連結7ピンパーツ・連結6ピンパーツの操作部を背面側に回し、クリック感があるところまでしっかり回します。



危険：200Vのユニットを接続する場合、右端のターミナルユニットは必ず200V電源ユニットに付属される200V用ターミナルユニット(RCON-GW-TRS)を使用してください。24V用のターミナルユニットは、連結できない構造になっていますが、無理やり押込んで使用すると、コネクタを破損させるばかりでなく発火の原因になります。

モーター・エンコーダケーブルの配線



注1 以下の200Vサーボモーターアフェューターは、200Vドライバユニットに接続できません。

- ①モーター種類が60W～750W以外のタイプ (RS-30W仕様を除く)
- ②エンコーダ種類がハブリレスタイプ、インクリメンタル、疑似タイプ、インデックスタイプ以外のタイプ
- ③三相200Vの場合……200Vドライバユニットに接続するアフェューターW数の合計が2400Wを超える組み合わせ
- ④単相200Vの場合……200Vドライバユニットに接続するアフェューターW数の合計が1600Wを超える組み合わせ
- ⑤サーボレスタイプ
- ⑥スカラムット
- ⑦CT4シリーズ
- ⑧ZRシリーズ

上記①～④のアフェューターを接続する場合は、SCON拡張ユニットとSCON-CBを使用してください。
また、DD/DDA、LSA-W21S、RCS3-CT8C/CTZ5Cは、単相200Vには対応していません。

注2 200Vドライバユニット、200V電源ユニットには、各60Wの回生抵抗が内蔵されています。
基本的には回生抵抗は必要ありませんが、もし回生抵抗が不足する場合は、本外付け回生抵抗ユニットを使用します。

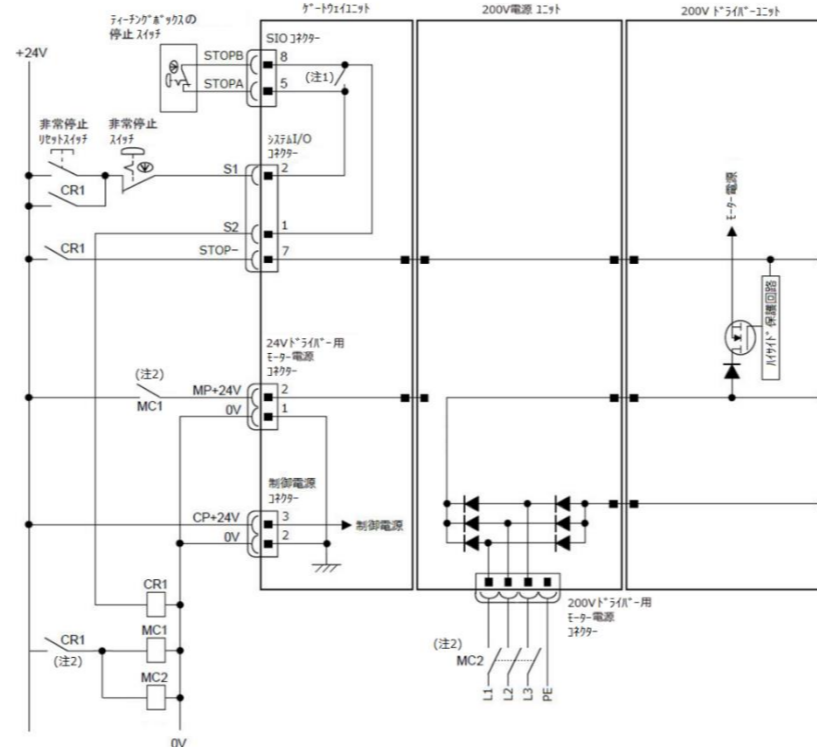
200Vドライバユニット接続ケーブル一覧表

No	アフェューター		モーターケーブル	モーターケーブル	エンコーダケーブル	エンコーダケーブル
	シリーズ	対象タイプ				
①	RCS4 RCS4CR		CB-RCC1-MA□□□	CB-X2-MA□□□	—	CB-X1-PA□□□
②	RCS3(P) RCS3(P)CR	CTZ5C CT8C	CB-RCC1-MA□□□	CB-X2-MA□□□	—	CB-X1-PA□□□
		上記以外			CB-RCS2-PA□□□	CB-X3-PA□□□
③	RCS2 RCS2CR RCS2W	RTC□□ RT6	CB-RCC1-MA□□□	CB-X2-MA□□□	CB-RCS2-PLA□□□	CB-X2-PA□□□
		上記以外			CB-RCS2-PA□□□	CB-X3-PA□□□
④	RCS2	RA13R	CB-RCC1-MA□□□	CB-X2-MA□□□	CB-X2-PLA□□□	CB-X2-PLA□□□
		RA13R プレーキ付 (プレーキ付無)			【アフェューター～プレーキ付】 CB-RCS2-PLA□□□	【アフェューター～プレーキ付】 CB-X2-PLA□□□
⑤	IS(P)B IS(P)DB IS(P)DBCR	RA13R プレーキ付 (プレーキ付無)	CB-RCC1-MA□□□	CB-X2-MA□□□	【アフェューター～プレーキ付】 CB-RCS2-PLA□□□	【アフェューター～プレーキ付】 CB-X2-PLA□□□
		RA13R プレーキ付 (プレーキ付無)			【アフェューター～プレーキ付】 CB-RCS2-PLA□□□	【アフェューター～プレーキ付】 CB-X2-PLA□□□
⑥	IS(P)A IS(P)DA IS(P)DACR SSPA SSPDACR IF FS RS	—	—	CB-X2-MA□□□	CB-X1-PA□□□	CB-X1-PA□□□
		オプション: リミットスイッチ付仕様			※ハブリレスタイプ仕様で ケーブル長が21m以上30m以下 の場合は CB-X1-PA□□□-AWG24	CB-X1-PLA□□□
⑦	NSA	—	—	CB-X2-MA□□□	CB-X1-PA□□□	CB-X1-PA□□□-WC
		オプション: リミットスイッチ付仕様			※ハブリレスタイプ仕様で ケーブル長が21m以上30m以下 の場合は CB-X1-PLA□□□-AWG24	CB-X3-PA□□□
⑧	NS	—	—	CB-X2-MA□□□	CB-X1-PA□□□	CB-X1-PA□□□-WC
		オプション: リミットスイッチ付仕様			—	CB-X3-PA□□□
⑨	DD(A) DD(A)CR DDW	T18□ LT18□	—	CB-X2-MA□□□	—	CB-X3-PA□□□
		H18□ LH18□			CB-XMC1-MA□□□	—
⑩	LSA	W□□□	—	CB-X2-MA□□□	CB-X2-PLA□□□	CB-X2-PLA□□□
		上記以外			CB-XMC1-MA□□□	CB-X3-PA□□□
⑪	LSAS	—	—	CB-X2-MA□□□	—	CB-X1-PA□□□
⑫	IS(P)WA	—	—	CB-XEU1-MA□□□	—	CB-X1-PA□□□-WC

電源・停止回路(例)

RCONの駆動源遮断に関連する回路を以下に示します。200Vモーター電源は、200V電源ユニットに供給します。
駆動源遮断に関連する回路は、ドライバユニット側にあります。

- ・各ドライバユニットには、半導体による駆動源遮断回路があり、STOP信号によりモーター電源を遮断します。
- ・半導体による駆動源遮断回路は、過電流検出や突入電流制限の機能があります。



注1 RCON-GW : SIOコネクタに何も接続されていない場合、コントローラ内部でS1とS2が短絡します。
RCON-GWG : SIOコネクタに何も接続されていない場合、コントローラ内部でS1とS2は短絡しません。

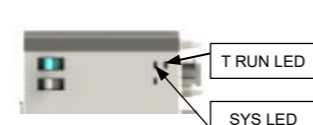
短絡させる場合は、SIOコネクタに付属の「ミッパ」DP-5を接続してください。
注2 駆動源遮断コネクタや駆動用電源コネクタに供給している駆動電源を切る場合、同時にSTOP信号をOFFするように回路を構築してください。

注 ●駆動源遮断コネクタの配線は、電圧が低下しないような配線径、配線長にしてください。
●配線径、配線長等の要因でコントローラ供給電圧が低下、アラームになる場合があります。この場合、コントローラ供給電圧が24Vになるように電源の出力電圧を調整してください。

トラブルシューティング (LED表示)

ユニットのLEDについて記述します。
正常動作の確認やエラーの復旧などに活用してください。

(1) 200Vドライバユニット



ハチ表記	表示色	状態	説明
T RUN	緑	点灯	内部ハチ正常通信中
		点滅	初期化通信待ち、初期化通信失敗
		点灯	内部ハチ通信異常発生
SYS	緑	点灯	サーボ ON
		消灯	サーボ OFF
		点灯	アラーム発生中、STOP信号入力 ON

株式会社アイエイアイ

本社・工場	〒424-0103 静岡県静岡市清水区尾羽 577-1	TEL 054-364-5105 FAX 054-364-2589
東京営業所	〒105-0014 東京都港区芝 3-24-7 芝エクスージビルディング 4F	TEL 03-5419-1601 FAX 03-3455-5707
大阪営業所	〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 6-2-40 中之島インテス 14F	TEL 06-6479-0331 FAX 06-6479-0236
名古屋支店		
名古屋営業所	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 5-28-12 名古屋若宮ビル 8F	TEL 052-269-2931 FAX 052-269-2933
小牧営業所	〒485-0029 愛知県小牧市中央 1-271 大垣共立銀行 小牧支店ビル 6F	TEL 0568-73-5209 FAX 0568-73-5219
四日市営業所	〒510-0086 三重県四日市市諏訪栄町 1-12 朝日生命四日市ビル 6F	TEL 059-356-2246 FAX 059-356-2248
豊田支店		
新豊田営業所	〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町 1-5-3 朝日生命新豊田ビル 4F	TEL 0565-36-5115 FAX 0565-36-5116
安城営業所	〒446-0056 愛知県安城市三河安城町 1-9-2 第二東洋ビル 3F	TEL 0566-71-1888 FAX 0566-71-1877
盛岡営業所	〒020-0062 岩手県盛岡市長田町 6-7 クリエ 21ビル 7F	TEL 019-623-9700 FAX 019-623-9701
秋田出張所	〒018-0402 秋田県にかほ市平沢字行ヒ森 2-4	TEL 0184-37-3011 FAX 0184-37-3012
仙台営業所	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-6-6 イースタンビル 7F	TEL 022-723-2031 FAX 022-723-2032
新潟営業所	〒940-0082 新潟県長岡市千歳 3-5-17 センザビル 2F	TEL 0258-31-8320 FAX 0258-31-8321
宇都宮営業所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷 5-1-16 ルーセントビル 3F	TEL 028-614-3651 FAX 028-614-3653
熊谷営業所	〒360-0847 埼玉県熊谷市龍原南 1-312 あかりビル 5F	TEL 048-530-6555 FAX 048-530-6556
茨城営業所	〒300-1207 茨城県牛久市ひたち野東 5-3-2 ひたち野うしく池田ビル 2F	TEL 029-830-8312 FAX 029-830-8313
多摩営業所	〒190-0023 東京都立川市柴崎町 3-14-2 BOSENビル 2F	TEL 042-522-9881 FAX 042-522-9882
甲府営業所	〒400-0031 山梨県甲府市丸の内 2-12-1 ミサトビル 3F	TEL 055-230-2626 FAX 055-230-2636
厚木営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町 1-10-6 シャンロック石井ビル 3F	TEL 046-226-7131 FAX 046-226-7133
長野営業所	〒390-0852 長野県松本市島立 943 ハーモネットビル 401	TEL 0263-40-3710 FAX 0263-40-3715
静岡営業所	〒424-0103 静岡県静岡市清水区尾羽 577-1	TEL 054-364-6293 FAX 054-364-2589
浜松営業所	〒430-0936 静岡県浜松市中区大工町 125 シャンソンビル浜松 7F	TEL 053-459-1780 FAX 053-458-1318
金沢営業所	〒920-0024 石川県金沢市西念 3-1-32 西清ビル A 棟 2F	TEL 076-234-3116 FAX 076-234-3107
滋賀営業所	〒524-0033 滋賀県守山市浮気町 300-21 第2小島ビル 2F	TEL 077-514-2777 FAX 077-514-2778
京都営業所	〒612-8418 京都府京都市伏見区竹田向代町 12	TEL 075-693-8211 FAX 075-693-8233
兵庫営業所	〒673-0898 兵庫県明石市樽屋町 8-34 第5池内ビル 8F	TEL 078-913-6333 FAX 078-913-6767
岡山営業所	〒700-0973 岡山県岡山市北区下中野 311-114 OMOTO-ROOT BLD.101	TEL 086-805-2611 FAX 086-244-6767
広島営業所	〒730-0051 広島県広島市中区大手町 3-1-9 広島鯉城通りビル 5F	TEL 082-544-1750 FAX 082-544-1751
松山営業所	〒790-0905 愛媛県松山市榊味 4-9-22 フォーレスト 21 1F	TEL 089-986-8562 FAX 089-986-8563
福岡営業所	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 3-13-21 エフビル WING 7F	TEL 092-415-4466 FAX 092-415-4467
大分出張所	〒870-0823 大分県大分市東大道 1-11-1 タンネンバウム Ⅲ 2F	TEL 097-543-7745 FAX 097-543-7746
熊本営業所	〒862-0954 熊本県熊本市中央区神水 1-38-33 幸山ビル 1F	TEL 096-386-5210 FAX 096-386-5112

お問い合わせ先

アイエイアイ お客様センター エイト

(受付時間) 月～金 24時間 (月7:00AM～金翌朝7:00AM)
土、日、祝日 8:00AM～5:00PM
(年末年始を除く)

フリー
ダイヤル 0800-888-0088

FAX : 0800-888-0099 (通話料無料)

ホームページアドレス www.iai-robot.co.jp

管理番号 : MJ0397-3A